



■ 工場の概要 (2009年3月末現在)

工場名	本工場	矢島工場
所在地	群馬県太田市スバル町1-1	群馬県太田市庄屋町1-1
土地面積	585,521m ²	549,845m ²
建物面積	312,313m ²	255,466m ²
従業員数	3,088人	2,555人
主な生産品目	ステラ、R1、R2、プレオ、サンバー	レガシィ、エクシーガ、インプレッサ、フォレスター

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

■ 地域行事への積極的な参加

群馬製作所では、地域社会との共生を通じて、豊かな社会づくりに貢献していくことを目指して、ふれあい行

事、交流会、工場見学受け入れ、あるいは地域清掃活動、地域イベントへの参加など、さまざまなかたちで地域の皆さまとのコミュニケーションを積極的に図っています。ここでは、2008年度の活動の一部をご紹介します。



7月 「おおた夏まつり」にはスバルみこして600名参加



8月 一般応募の親子221名を招待し開催した「スバル体験教室」



9月 「太田市環境フェア」で電気自動車「プラグインステラ」をアピール



10月 「上州太田スバルマラソン」
スバル地域交流会と共同で一般市民マラソンを開催。誘導スタッフ100名が参加し先導車両の提供やマラソン完走者1名へステラを1台贈呈するなど大盛況となりました



11月 矢島工場を一般開放し「スバル大感謝祭」を開催。来場者は3万人にのぼりました



年4回 一般の方を対象に無料コンサートを開催。地元出身者に出演の場を提供するほか、環境活動促進のため演奏会で花のタネと苗を無料配布しています。毎回約500名が集う恒例行事となっています

■ スバルビジターセンター

地域交流の中でも中核をなすものが、工場見学を主とするスバルビジターセンターです。お客さまや地域の小学生を中心に年間10万人以上の来場者をむかえています。



スバルビジターセンター

■ スバル出前環境教室

次世代の「モノづくり」を担う子どもたちに、環境問題の現状を正しく伝え理解してもらうとともに、当社が取り組んでいる環境保全活動を通じて、子どもたち自身の環境問題に対する気づきと実行のキッカケづくりにしてもらいたいという考えから、地域の小学生を対象に「スバル出前環境教室」を開催しています。

「みんなで地球をまもろう!」をテーマに、フラスコと炭酸ガスを使った「地球温暖化再現実験」、「環境クイズ」などで、「現在と将来の地球環境のために自分たちのやる



■ 工場の概要(2009年3月末現在)

工場名	太田北工場	大泉工場	伊勢崎工場
所在地	群馬県太田市金山町27-1	群馬県邑楽郡大泉町いすみ1-1-1	群馬県伊勢崎市末広町100
土地面積	43,750m ²	376,038m ²	177,422m ²
建物面積	26,841m ²	179,984m ²	58,866m ²
従業員数	74人	1,535人	80人
主な生産品目	自動車用部品	自動車用発動機(エンジン)、自動車用変速機	自動車用補修部品

べきこと、できることを考え、行動にうつす」意識付けを目標とした内容となっています。

2004年度に16校から開始したこの出前環境教室は、徐々に範囲を拡大し、2008年度は、太田市と邑楽郡大泉町内すべての30校、伊勢崎市内1校、計31校の小中学校で実施しています。



スバル出前環境教室、フラスコを使った地球温暖化再現実験の様子



教育・啓発活動など

群馬製作所では、職種・階層に応じた教育や訓練を実施しています。また、関係会社・お取引先支援の一環としてさまざまな教育も実施しています。



4月 関係会社・お取引先の新入社員を対象とした安全衛生・環境教育



6月 スバル安全環境協議会RST(職長)教育が実施され、34名が参加しました

環境保全の取り組み

群馬地区^{※1}の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、群馬地区では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。



—群馬地区 環境方針— [2002年6月改定]

富士重工業株式会社 群馬地区は豊かな自然を守り、次世代に引き継ぐため環境にやさしい“クルマづくり”を目指し「クリーンなスバル」を「クリーンな工場」から提供します。

- (1) 自動車部門における環境への影響を考慮して、積極的な環境保全に努めます。
- (2) 関連する法規制・地域協定・業界規範を順守するとともに、環境上の目的・目標を定めて自主的な活動に取り組みます。
- (3) 「継続的な改善と汚染の未然防止」が重要であることを認識し、一人ひとりが自覚と責任を持って行動します。
- (4) 環境に関し、階層・職種に応じた教育を推進し、環境意識の定着を図ります。
- (5) 計画的な監査・診断を実施し、環境保全活動のさらなる向上を図ります。
- (6) 社会の一員として、地域や社会との交流を図るとともに、環境保護活動に積極的に協力します。

※1 「群馬地区」とは、自動車の生産拠点である群馬製作所を中心に、同製作所に所在するスバル技術本部の群馬組織、および、栃木県佐野市に所在するスバル研究実験センター、ならびに、太田市朝日町に所在するスバル部品センターを範囲としたISO14001環境マネジメントシステムの外部審査適用範囲の総称です。

2008年度の主な環境保全活動実績

■ 地球温暖化防止活動

2008年度は、製造工程の省エネルギー改善、固定エネルギー抑制などを実施したほか、4基の天然ガスコージェネレーションシステムの効率的な稼働により、CO₂排出量は、1990年度比23.4%低減しました。

また、水資源については、1999年度比52%低減しています。

■ 廃棄物削減活動

廃棄物削減につきましては、廃棄物が発生する量を削減する活動を継続しています。

2008年度は、総発生量(金属くず含む)を2007年度比3,224トン削減しました。また、電子マニユフェストへの対応も開始しました。



電子マニユフェストへの対応として廃棄物管理ソフトを試験的に導入しました

■ 公害防止活動

2008年度にいただいた苦情、化学物質の流出事故、環境関連法規制値の超過は46ページの一覧に示したとおりです。「すべてゼロ」を目標に、環境リスクアセスメントや工事業者教育をさらに推進していきます。

また、塗装工程などから排出されるVOCは、塗料の水溶性化などにより第4次環境ボランティアプラン目標^{※1}を

達成しました。

今後もすべての環境保全活動において第4次環境ボランティアプラン目標の達成を目指して、積極的に活動を進めていきます。

環境監査結果

■ 環境マネジメントシステムに基づく内部監査の結果

2008年7月4日～10月27日の期間に、群馬地区内全部署を75に区分して、すべての部署を対象とした内部監査を実施しました。併せて、同期間中に環境関連法規を管理する9部署に対して、環境関連法規の順守監査を実施しました。是正処置要求事項は、77件発生しました。是正処置とともに予防処置も進め、群馬地区全体のレベルアップを図っています。今後も内部監査員の力量向上と内部監査の仕組みの改善を継続的に進めていきます。

■ ISO14001外部審査結果

2009年1月21日～23日の期間にISO14001サーベイランス審査を受審し、不適合2件・観察事項1件が指摘されましたが、直ちに不適合の是正措置を行ったことにより、ISO14001の認証継続が確認されました。



ISO14001外部審査のようす(トップインタビュー)

環境データ

■ CO₂排出量 (単位:ton-CO₂)

項目	2008年度実績
CO ₂ 排出量	159,687
1990年度を100とした場合の指数	76.6

電力および化石燃料(重油、軽油、灯油、ガソリン、都市ガス、LPG)の合計使用量を換算しています。
CO₂換算係数の出典:社団法人日本自動車工業会
(個別に把握した換算係数を使用している場合があります)

■ 水使用量 (単位:m³)

項目	2008年度実績
水使用量(m ³)	2,417,893
1999年度を100とした場合の指数	48.0

※1 第4次環境ボランティアプランVOC低減目標
VOC排出量原単位を2000年度比30%以上低減する。

■ 廃棄物・金属くず関連 (単位:ton)

項目	2008年度実績
金属くず	56,891
社内リサイクル量	1,491
直接埋立	0
外部中間処理	5,138
外部中間処理後埋立	0

地域社会とのかかわり

地域社会とのコミュニケーション

宇都宮製作所では、社会の一員として周辺地域や社会との共生を図り、ともに繁栄していくことが大切であると認識しています。地域とのふれあい行事や、交流会

の開催、クリーン活動、各種募金への積極的な協力など、さまざまなかたちで地域貢献を行っています。ここでは、2008年度の取り組み、活動の一部をご紹介します。



4月 敷地内の旧引込み線跡地を歩行者・自転車専用の遊歩道として地域に開放、地域の皆さまから「スバルロード」と命名していただきました。これまで迂回していた住民の方からたいへん喜ばれています



6月 障がいを持つ方とのふれあいの場となる「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」では、ボランティアで競技進行誘導係などを担当しました



8月 昭和59年から実施している「富士重工 盆踊り大会」には、地域自治会、婦人会、子ども会や協力企業など4,000名が参加し盛大に行われました



10月 「富士重工ふれあい祭り」では、従業員や地域住民の方約7,000名が集う大規模なものとなりました。この中で、環境PRブースを出展し「宇都宮製作所CSR環境の取り組み」や「緑化推進活動/緑の募金」をPRするとともに、社団法人栃木県緑化推進委員会の協力をいただき、ブルーベリーの苗木の無料配布を行いました。配布は今回で4回目となりますが、開始前から長蛇の列ができる盛況ぶり多くの皆さまに歓迎されています。今後も緑化推進活動の輪を広げていきます



3月 「企業体験バスツアー工場見学会」宇都宮市初の試みの企業体験バスツアーの要請を受け、航空機産業の現場を体感していただくメニューを組込んだ見学会を実施。市内の高校・大学・大学院の学生が参加しました

教育・啓発活動など

宇都宮製作所では、人事階層別教育をはじめさまざまな機会を捉え従業員への環境教育、内部監査員教育、フォローアップ教育などを計画的に実施しています。また、地域の関係会社・お取引先支援の一環として、環境パトロールなどを積極的に実施しています。

毎年定期的に「環境事例発表会」を開催し、各職場の優秀な改善事例について活動内容や成果の発表を行っています。

さらに、各職場では事故の未然防止に向けた管理の徹底と、万が一の環境事故発生時に環境影響を最小限に抑えるため繰り返し訓練を実施しています。

宇都宮製作所サイトレポートの紹介

宇都宮製作所では、毎年サイトレポート(環境・社会報告書)を発行しています。地域の皆さまに当製作所の概要をお知らせするとともに、交流を深める資料として使われています。



宇都宮製作所
環境・社会報告書2008



■ 工場の概要(2009年3月末現在)

工場名	本工場(航空宇宙カンパニー)	南工場(航空宇宙カンパニー)	第2南工場(航空宇宙カンパニー)
所在地	栃木県宇都宮市陽南1-1-11	栃木県宇都宮市上横田町1418	栃木県宇都宮市宮の内2-810-4
土地面積	337,457m ²		
建物面積	176,895m ²		
従業員数	2,035人		
主な生産品目	航空機、無人機、宇宙関連機器	航空機	航空機

環境保全の取り組み

宇都宮製作所の環境方針

当社企業理念および全社環境方針を受け、宇都宮製作所では環境方針を策定し、環境保全活動に積極的に取り組んでいます。

—宇都宮事業所 環境方針— [2008年6月改定]

富士重工業(株)宇都宮製作所(航空宇宙カンパニー、エコテクノロジーカンパニー、輸送機工業株式会社および株式会社エフ・イー・エス)は、事業活動と地球環境の調和を目指し、環境保全への積極的な取り組みを通して、豊かな社会実現のため、以下の方針を定めます。

- (1) 事業活動の環境影響を評価し、開発・設計から生産・物流・サービス・廃棄等全段階における環境負荷を低減します。
- (2) 事業活動において、関連する法規制、地域協定およびその他の要求事項を順守し、さらに、自主管理基準を制定し、一層の環境保全に取り組めます。
- (3) 環境保全への目的・目標を設定して自主的な活動に取り組み、定期的なレビューを行いながら、環境の継続的な改善と汚染の予防を図ります。
- (4) 美しい地球環境をつくるため、二酸化炭素の削減、省エネルギー、省資源、化学物質の排出削減、産業廃棄物の削減・再資源化を促進します。
- (5) 社会の一員として、地域や社会との交流を図るとともに、環境保護活動に積極的に協力します。
- (6) 環境教育・啓発を通して、一人ひとりが環境を大切にす企業風土づくりを進めます。
- (7) 環境方針は文書化し、実行し、維持し、かつ製作所で働くまたは製作所のために働くすべての人に周知するとともに、必要に応じて社外へも公開します。

2008年度の主な環境活動実績

■ 地球温暖化防止活動

航空宇宙カンパニー

2008年度のCO₂排出量は、22,104ton-CO₂となり、目標を達成しました。2007年度と比較すると、14%削減しています。これは、ガス暖房機の間欠運転や、クリーンルーム与圧時間管理の見直し、そして南工場ボイラーの都市ガス化など、地道な省エネ活動によるものです。今後はコストも絡めたCO₂低減活動を進めていきます。

エコテクノロジーカンパニー

大型都市ガスボイラーに自動省エネ運転装置の取り付け、電着塗料の不攪拌化による攪拌モーター停止、冷却モーターをインバーター化するなど、省エネ活動に継続的に取り組んだ結果、CO₂排出量は2,394ton-CO₂となり、目標を達成しました。2007年度と比較して

14.3%減少しています。なお1990年度比では69.1%低減となっています。今後は、老朽化機器更新や運転方式を見直すなど、さらなるエネルギー管理を強化し、CO₂低減活動を進めていきます。

■ 廃棄物削減活動

航空宇宙カンパニー

2008年度の廃棄物量は2,267トンで目標を達成できました。2007年度と比較すると1%削減しています。これは、有効期限切れ廃棄物の削減や、電子閲覧業務を拡大してペーパーレス化に努めるなどの取り組みの成果です。2009年度は処理費用の発生抑制を絡めて、購買部門と連動した有効期限切れ廃棄物削減策を進めていきます。

エコテクノロジーカンパニー

2008年度の廃棄物量は576.5トンとなり、目標を



■ 工場の概要(2009年3月末現在)

工場名	半田工場(航空宇宙カンパニー)	半田西工場(航空宇宙カンパニー)	本工場(エコテクノロジーカンパニー)
所在地	愛知県半田市潮干町1-27	愛知県半田市上浜町102	栃木県宇都宮市陽南1-1-11
土地面積	49,041m ²	49,244m ² *1	171,816m ²
建物面積	11,227m ²	13,809m ²	51,633m ²
従業員数	196人	25人	198人
主な生産品目	航空機	航空機	塵芥収集車、風力発電システム、ロボット*2など

達成できました。前年度と比較すると、6.4%低減しています。これは、16棟排水処理設備改造による汚泥排出量の削減や、板取り実態に合わせた最適材種の見直しを実施するなどの取り組みの成果です。

今後は塗料スラッジを削減するための静電塗装導入などを進め、さらなる廃棄物発生量の低減を推進していきます。

■ 公害防止活動

2008年度は、統計開始以来はじめて「環境苦情ゼロ件」を達成しました。今後も継続して「ゼロ」を達成できるように公害防止活動に取り組んでいきます。

ただし、環境法規制値の超過と構内事故がそれぞれ1件発生しました。再発防止に向けて業者指導などを実施し水質管理強化と納入業者への環境教育を拡大して実施しています。「すべてゼロ」を目標に、環境リスクアセスメントや工事業者教育をさらに推進していきます。

*環境法規制値超過と構内事故の詳細は46ページに示したとおりです。

環境監査結果

■ 環境マネジメントシステムに基づく内部監査結果

2008年5～6月および11～12月の期間に、宇都宮

製作所で59部署の内部監査を実施しました。その結果、不適合70件、観察事項74件となりました。不適合指摘を受けた部署については直ちに是正処置を実施し、EMSの完成度を向上させています。

また、昨年の指摘事項の「内部監査員の養成、増員」に対するフォローとして、2008年度は、新たに15名の監査員を加え、合計147名が登録されました。監査員は、外部機関での内部監査員研修または社内研修を受講したことを条件に養成され、自部門を監査しない独立性も確保されています。

今後も監査システムの一層のレベルアップを図っていきます。

■ ISO14001外部審査結果

2008年6月16日～19日の期間に、ISO14001更新審査を受審し、軽微なものを含め不適合はゼロで、ISO1400の認証更新が確認されました。また、今回の審査では当社の100%子会社の「株式会社エフ・エー・エス」を加えた適用範囲拡大が認められました。



ISO14001外部審査の様子

環境データ

■ CO₂排出量

(単位:ton-CO₂)

項目	事業所区分	2008年度実績	1990年度を100とした場合の指数
CO ₂ 排出量	航空宇宙CP	22,104	81.0
	エコテクノロジーCP	2,394	30.9
	宇都宮製作所	24,498	69.9

電力および化石燃料(重油、軽油、灯油、ガソリン、都市ガス、LPG)の合計使用量を換算しています。
CO₂換算係数の出典:社団法人日本自動車工業会
(個別に把握した換算係数を使用している場合があります)

■ 水使用量

(単位:m³)

事業所区分	2008年度実績	1990年度を100とした場合の指数
航空宇宙CP	735,892	84.7
エコテクノロジーCP	40,759	25.7
宇都宮製作所全体	776,651	75.6

■ 廃棄物・金属くず関連

(単位:ton)

項目	2008年度実績
金属くず	751
金属くずを除く産業廃棄物-特別管理産業廃棄物	2,092
直接埋立	0
外部中間処理後埋立	0

※1 半田西工場の土地面積49,244m²のうち、7,267m²は借用地として拡大しました。
※2 清掃ロボットなどについては、当社 クリーンロボット部にて製造・販売しています。